



# やこう

学校だより 令和8年度6月号

令和8年5月29日

横浜市立矢向小学校

ホームページはこちらからどうぞ→

[www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/)



## すきなものなあに

副校長 栗山 直美

猛暑日が顔を出し、梅雨の走りを感じるこの頃、登下校を見守ってくださる方々や、声をかけてくださる地域の皆様の姿に改めて矢向のまちの温かさを感じています。

新年度のスタートから2か月がたち、子どもたちの表情にも少しずつ余裕が見られるようになってきました。教室からは、自分の「すきなもの」について楽しそうに語り合っている声が聞こえてきます。1年生は、図工や生活科の学習を通して「すきなものなあに」をテーマに活動しています。すきな遊びや食べ物、家族や友達など一人一人の「すき」は本当に様々です。「どうしてそれがすきなのか?」「おもしろいところは何?」と友達や先生からたずねられることで、自分の気持ちを言葉にしようとする姿が見られます。自分の「すき」を見つめ直し、友達と伝え合うことは学びの第一歩です。6年生は、外国語の学習で自分のすきなものを英語で紹介する活動に取り組んでいます。すきなスポーツや音楽、本など自分の興味のあることを題材にしながら、「もっとこの言い方を知りたい。」「うまく伝わるように工夫したい。」と試行錯誤しながら表現しています。相手に伝わるように考えたり、調べたりしながら表現を磨いていく姿には、最高学年らしい頼もしさを感じます。自分の「すきなもの」を大切にし、その世界を深く知ろうとする姿勢は、主体的に学ぶ姿の土台となります。「どうしてだろう。」「もっと知りたい。」という思いが、学習や将来の夢にもつながっていきます。

先週3、4年生の音楽集会がありました。体育館いっぱい「ドレミの歌」の歌声が響きました。途中パートごとに分かれてかけ合いをする部分が私はとてもすきです。相手のパートの声を聴きながら声量を調整し、歌をリードしたり支えたりしながらリズムに乗って歌うことで心地よさを感じます。みんな明るくいい表情で透き通った声で歌っていて思わず一緒に口ずさみ、そしていつの間にか合唱に参加していました。短い時間でも「すき」を堪能したので一日気分よく過ごせました。ご家庭でもぜひお子さんの「すき」を話題にいただければと思います。家庭と学校と一緒に子どもたちの「すき」を大切に、興味関心を広げていく姿勢や、主体的に学ぶ姿を見守っていければ幸いです。



矢向小のすきなところ【校長池】



すきな生き物【ピーちゃん】